

各地の話題 角田市



2021年1月22日号掲載

若手農業者らが農業生産法人を設立

角田市の中心部から北へ約4 kmの北郷地区内で県営尾袋川東地区土地改良事業が計画されている。

ほ場の大区画化(標準区画2 ha)などにより農地の利用集積と経営体の育成・支援を一体的に行い、効率的かつ安定的な農業経営の確立を目指すもので、受益面積78.9 haで令和11年事業完了予定である。



この事業計画を契機に同地区内の新たな担い手として、若手の農業者ら3名が株式会社飛躍SHOW(ヒャクショウ)を今月18日に設立した。

経営理念は「正直に作物を育て消費者に笑顔を咲かせる。地域農業を後世に引き継ぎ農と脳を育む」である。将来的には地域の農地200 haを借入し、地域農業を守るため、売れる米づくり、スマート農業の導入、たまねぎ・菌床キノコ栽培など高収益作物への取り組み、後継者の育成などを計画している。

代表の遠藤浩司さん(50)は「農業の現状を前に一歩進め、農業の魅力・可能性を地域内外へ示すことで、若者が入ってきやすい会社を目指す」と社名に込めた夢を話す。地域農業の担い手として今後の活躍が期待される。

【記事提供：角田市農業委員会】